

No. 141



会報 いざみ

発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター

編集／広報委員会



ボランティアで昭和公園の樹木剪定をする植木班

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号

電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272

メールアドレス：akishima@akishima-sc.or.jp

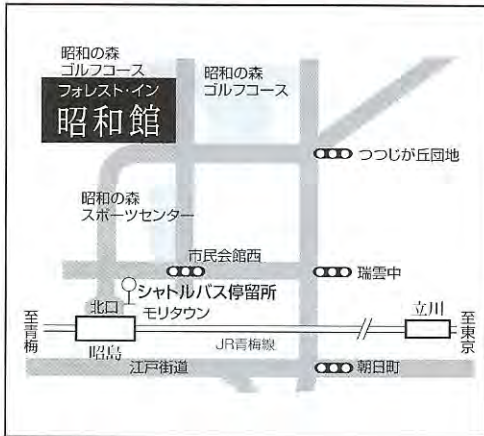
会員数	男性	女性	合計
(平成25年3月25日現在)	821人	255人	1,076人

ホームページ：http://www.akishima-sc.or.jp

フォレスト・イン昭和館 で 第3回定時総会開催

日時:6月18日(火) 午後2時

場所:フォレスト・イン昭和館2階大ホール



平成25年度昭島市シルバー人材センターの定時総会概略が決まりました。会場は、例年市民会館で開かれていましたが、同会館が改修工事中のため他の会場を検討した結果、ホテル「フォレスト・イン昭和館」2階大ホールとすることになりました。

※自転車または徒歩によるご出席をお願い致します。徒歩の方は、昭島駅北口より同ホテルのシャトルバスが利用可能です。

平成24年度第2回

理事・地域班長全体会議

3月19日昭島市交流センターで開催されました。理事17名と地域班長53名中37名が出席し、石合理事の司会で始まりました。

初めに黒岩会長より「センターの現況は厳しく、今年度の事業実績は低下しており、平成25年度も先が見えない状態です。このようなかで適正就業への取り組みを行い、就業形態を見直し、整理し『就業基準』に基づく『就業契約』を実施してきました。来年度も見直し、整備を行っていきます。会員の皆様の協力をお願いします」との話がありました。続いて田中常務理事よりセンターの現況及び包括の報告がありました。

問題点として①今年度は事業実績が一千万円近い減額が予想される②過去10年来女性会員の増加率の伸びが少ない③企業訪問でも現状維持が精いっぱいの状態。

良い状況として①職群班が3班増設された②イキイキ・ニコニコ介護予防教室が2教室増設された③視察依頼が多く来た(長野県中野広域・東京都狛江市、埼玉県シルバー人材センター連合より家事援助サービスマスター講師依頼など。

次に平成25年度事業計画等について各部署長・委員長より説明がありました。

続いて石合理事の司会で意見交換が行われました。

「中長期計画の見直し」「パト・ボラへの見解」「ワークシェアリングの推進」「定款」などについて、活発な質問がありました。

局長より回答がありました。

最後に会長より、設立当初から38年勤務された石坂事務局長が、3月末日で定年退職されること、次期局長は橋本事務局長代理が就任される、との報告がありました。



各部会の発表

平成25年度に向かって

総務部会長 伊藤 周治

総務部会では適正就業の推進をはじめ、財政基盤の確立、地域活動の充実、会員の増強、社会奉仕活動の活性化と更なる拡大等、センター発展につながるよう事業に取り組みます。具体的には次の通りです。

①昨年度に引き続き適正就業を推進するため、発注者との契約の見直し、会員とセンター

との就業契約締結をスムーズに進めてまいります。

② 役員及び会員に必要な外部研修に参加します。

③ 会員の増強に総務部会として取り組みます。

④ 「昭島シルバーふれあい祭り」を開催し活気あるセンターを目指します。

⑤ 各地区・地域班活動の充実を図ります。

⑥ 受託事業における未収金の早期回収を図ると共に、補助金の削減や事業の減少による運営経費の不足を想定して、事務費率を上げるなど自主化、効率化について検討します。

⑦ 自転車・学校管理業務の説明選考会応募年齢を72歳から74歳以下に改定しました。

事業計画の詳細について

事業部会長 奥山 毅

① 仕事の質を高め、お客様への対応を良くするため、新入会員への心構えなどについて各種研修会を実施します。

② 班組織として確立されていない職群について、会員が連帯して就業できるように班構成の組織化をしていきます。

③ 会員への就業案内の強化について、多様な方法を講じながら今後とも取り組んでいきます。

④ 公益社団法人として許される適正就業の範

囲内で、就業の場の開拓に努めていきます。

⑤ 当センター独自の、自主事業として開拓推進していきます。

⑥ 社会奉仕活動を通じて社会参加の推進を計るためにも、パト・ボラ活動をはじめ他の奉仕活動も開拓しながら継続していきます。

会報「いずみ」の編集について

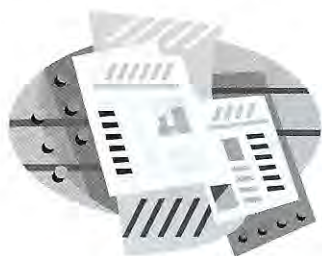
広報委員長 清水 武

会報「いずみ」が上がるまでの流れをご紹介いたします。一つの号の発行に際し3回の会議をもっていきます。まず企画会議で内容を検討、次に編集会議で書いた原稿の加筆修正そして校正会議で印刷所から戻ってきた紙面のチェックです。

心がけていることは、会員に役立つ記事、面白く読まれる記事、ミスのないこと。そして会員の紙面への登場を公平にバランスを取っていくことです。

現在、1,450部印

刷しておりますが、これからはネットの時代なのでホームページの充実にも心がけていきます。会員の皆さまから俳句、短歌、川柳や短いエッセイなどの投



稿もぜひお願いします。

また、編集経験や興味のある方はぜひ広報委員に加わっていただき、一緒に会報を創りあげていきましょう。

健康と安全第一について

安全管理委員長 清水 辰男

① 「事故撲滅運動」を展開していきます。

② 「健康と体調管理」に充分注意して行動する。

③ 退会者の退会理由は

○病気23% ○加齢11% ○死亡5%(平成24年4月〜平成25年3月)でした。日頃から良いコミュニケーションを取り、地域貢献するよう頑張りましょう。

④ 安全就業基準は「会員のしおり」の「安全心得」10項目に定められています。安全第一が基本です。

⑤ 平成24年度事故報告。

○傷害事故11件(自転車の転倒4件)、
○賠償事故5件、自転車の活用は、就業の往復途上、就業時と利用範囲が広く、無理をせず安全確認を行うこと。

⑥ 平成25年度重点項目

○事故を無くすため「安全就業の徹底と事故防止対策の推進」

○作業別安全就業基準の周知徹底。

就任にあたり



事務局長 橋本 正樹

4月1日付けで事務局長職に就任いたしました橋本でございます。

公益社団法人の認定を受けて3年目を迎えたシルバー人材センターは、景気低迷に伴う事業実績の低下に加え、国の事業仕分けによる補助金の削減、適正就業への改善指導と取り巻く環境は非常に厳しく、センターの運営には多難な時期にあります。

会長や役員そして事務局職員と連携し、会員の皆様のお役に立てるように、何事にも真心をもって精励し与えられた職務を全うしたいと考えております。

今後も、皆様がお気軽にお立ち寄れる事務局となるよう、微力ではありますが職員共々に頑張っておりますので、ご支援とご指導の程、よろしくお願いいたします。就任のご挨拶とさせていただきます。

退職に際して



前事務局長 石坂 勝彦

この3月末日をもって定年退職しました。長年、センターの職員として大勢の会員の皆さんと接してきて、楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったこと、様々な思い出が脳裏を走馬灯のように流れて行きました。センターの職員であったからこそ経験できたことを大事にしていきたいと思います。

退職にあたりシルバー人材センターの益々の発展と皆様のご健勝を祈念しております。また、会員の皆様、役員の皆様、諸先輩方、そして職員の皆様にお礼を申し上げます。

ありがとうございました。



安全管理委員会より

安全管理委員長 清水 辰男

●標語3作品選出

東京しごと財団の「不注意」をテーマとする平成25年度安全就業標語募集には、会員18名から48作品の応募がありました。安全管理委員会では以下の3作品を選抜、東京しごと財団へ推薦しました。

一瞬の心のゆるみひそむ事故

(緑 町・戸田治夫)

慣れた仕事もう一度見なおそう 安全確認

(中神町・五島新一)

生かせ経験 守れ原則

(昭和町・今中文彦)

●民間の就業現場を巡回

安全管理委員会では、2月下旬に平成24年度後期安全就業巡回点検を実施しました。今回は民間企業で働く会員を対象に絞り、安全意识、安全管理のチェックを、以下の企業等にご協力をいただきました。

- ・2月25日点検→エコス築地店/昭島ガス
 - ・2月28日点検→自然館(旧紀ノ国屋) / 国立プレス/三井造船マシナリーサービス
- ご協力ありがとうございました。

接遇研修が開催されました

今年も恒例の接遇研修が開催されました。平成25年2月18日から3月13日までの5日間で、各2時間の10回実施されました。

参加者は自転車管理業務各班159名・学校管理班86名・家事援助サービスマン等複数職班169名の合計414名でした。

講師は昨年に引き続き、渡辺久美子先生で「真摯(しんし)な姿勢と、活気ある街づくりのための接遇力アップ再確認の研修」および今年初めて実施された複数職班には「親しみやすさと親切さを表現する研修」という主題で、「お客様と私の『喜び』のためにおさえておきたいこと」を理解し体得することを目指したものでした。

この研修では、応対時のノウハウを知識で習得するだけでなく、多くの事例から感じの良い応対を体得することを学びました。特に、当センターで実際に起こったトラブルを教材としたケーススタディーでは、分かり易く解説していただき理解を深めました。「接遇」については、新しい「会員のしおり」でも強調されていますが、地域社会から信頼されるセンターとなるよう、全会員が日頃から意識していただきたいものです。

班長からの一言

自転車管理班 班長 片山 礎

駐輪場は市民の皆さまにいかに気持ち良くご利用していただくかであり、接遇の大切さを駐輪場に携わる全ての人達が自覚しなければなりません。

私たちの作業はサービス業としては単純作業ですが、いろいろなお客様への対応が求められる、奥深い作業となります。この研修で学び確認できたことを今後へ活かして欲しいと思います。

過去のトラブル・クレームの内容を分析し原因究明しますと、お客様と管理員の間には「若干のズレ」があり、今後全員の意識、努力でもっと減少することが期待されます。

お客様にますます喜んでいただける駐輪場にしたいと思えます。

学校管理班 班長 森 伯夫

研修は今年で2回目となり、回を重ねるごとに接遇に対する意識が向上したのではないかと思います。今回はトラブルを未然に防ぐための方策について、事例をもとに色々教えていただき参考になりました。

接遇の基本である挨拶、身だしなみ、態度、

言葉遣い、笑顔を念頭において、信頼と好感の持てる対応の仕方をも身につけたいと思っています。

イトーヨーカドー昭島店

カート回収班 班長 城 重彦

研修内容は具体的な事例に基づいて分かり易く、たいへん参考になりました。特に最近のクレームの動向や、その背景については驚きの連続でした。

私たちが思っていたことと最近の人の考え方が異なることが、まるで異なっていることが良く分かりました。

ここで得た知識を実際の事に活かして、少しでも気持ちのよい接客をしていきたく思います。



接遇研修の一コマ

就 業 体 験 記

広報配布班

「ご苦労様」の一声に支えられて

朝日町 池谷 陸一

平成18年から東中神駅東側駐輪場に就業していた5年間は、仲間の皆さんとも楽しく仕事ができ、私にとって貴重な体験でした。

昨年、広報配布員の欠員があるとの連絡があり、9月から昭和町3丁目地区を担当することになりました。

就業してみると、はじめは戸惑うことばかりでした。地図を見ても名前が記入されていない家、表札が変わっている家などなど。

それでも、わからない時は積極的に隣近所の人に話しかけ、教えていただくようにし、2ヶ月くらい経つ頃には、道で挨拶をかわせるようにもなり、仕事が楽しくなりました。

ポストに投入する時「ご苦労様」の一声が嬉しく、仕事に張り合いができます。

これからも事故に遭わないよう安全就業に心がけ頑張ります。



「安心して受講」の雰囲気づくり

都立多摩職業能力開発センター管理業務

つつじが丘 大塚 武人

旧女子短大跡地に立地している「都立多摩職業能力開発センター 人材育成プラザ」に就業してはや1年になります。

当初は戸惑いましたが、今では施設貸出しに伴う管理、受講生の受付、各教室の整理、施設、照明空調の消灯、講習会資料の準備等、仕事内容・建屋内にも馴れ、職員さん達とのコミュニケーションも気軽にできるようになりました。

ここは東京都が設置した公共職業訓練施設で、新たに職業に就こうとする方や転職を希望している方たちの職業訓練を行なうと共に地域の企業の人材育成や人材確保の支援を行っている所です。授業科目は機械、建築、電気、化学、印刷、事務、被服関係とその関連科目は延べ130コースもあり、受験生の年齢も多岐にわたり、シルバー人材センターの会員にも卒業した方がいます。

これからも受講生が安心して受講できるように心がけ、日々の就業を会員4人のローテーションでシルバー人材センター代表の意識を持って取り組んでいきます。



都立多摩職業能力開発センター

「ちいさな」ふれあい「タイム

家事援助サービスマスター

武蔵野 照井 美代子

私は、ひとり親ホームヘルプサービスマスターとして家事援助を行っていて、主に食事作りとお子さんとの遊びを仕事として週一回を担当しています。

「こんにちは、おじゃまします」と、訪問し食事の支度を始め、主に保存食や、ひと手間かけて完成するような食事の準備をします。肉団子、おひたし、サラダ、スープ、鮭等、特に好物として気に入ってもらっているのは、大根と人参の酢の物で、ピンに入れて作り置きするとお子さんがかわいいう声で「おいしい」と言って食べてくれるのが嬉しいです。お子さんは好き嫌いもなく、アレルギーもないので安心していきます。

お子さんは、1日の報告を手洗い、うがいもそこそこ保育園での出来事などのおしゃべりが始まり、楽しいひと時を過ごします。



かまぼね! シルバー

By ふくだたけし



☆掲出板☆

『パソコンお届け便』を
ご存知ですか!?

パソコン講師会員がご自宅に
出張します

◎個人レッスン ワード・エクセル・インターネット・その他

◎機器の据付・各種設定作業

初期設定・無線LAN・機器の増設・その他

◎パソコンのトラブル対応

ウイルスかな?・印刷できない!・その他

☆レッスン料・作業料

¥1,500 (最初の1時間) 以後30分毎(¥750)

☆連絡先 042(544)7060

平日8時30分~17時15分

ちよつといい話

「家事援助サービス班 埼玉県で事例発表」

当センターが活発な活動を行っていることから、東京しごと財団の推薦を受け、2月15日、財団法人いきいき埼玉(埼玉県シルバー人材センター連合)主催の「平成24年度福祉・家事援助サービス研修」の講師として会員コーディネーター(CD) 田中・糟谷・齋藤・永井が出席した。会場の県民活動総合センターには約70名の各センターの職員や会員の参加があり、1時間半「設立から12年の歩み: 会員CDの設置と役割・現状の事例発表」を行った。意見交換も活発



ロールプレイング(役割演技)の実演

に行われ熱気のある研修会となった。
当日参加の上尾市のセンターから、3月15日副理事長他12名が来所され2時間の視察研修を持った。
シルバーっ娘

「相談の日」
毎月第1火曜日
 ◇9:30~11:30
 センター事務所 2階
 ※担当理事が相談をお受けします

編集後記

3月初め厚生労働省から「都道府県別生命表」が発表されました。それによると、男女とも長野県がトップ。生命表は国勢調査などを基に5年ごとに作られ今回で10回目。男性は長野県の80.88歳で90年から5回連続の1位。女性でも同県が87.18歳で初めて1位になった。同省は「長野県は公衆衛生の先進国の一つで健康寿命も長い。生活習慣病の改善などが表れているのではないかと分析しています。」

なぜ長野県人が長寿なのか「イナゴ、さなぎ、ハチの子ヤソバ、ヒエ、アワや豆類の雑穀をよく食べている」という食習慣説。山や坂が多く歩くことにより足腰や心臓、肺の機能が丈夫になる。澄んだ空気と清らかな水も健康によいといった地勢・自然環境説など、さまざまな説がありますが、注目すべき点は、長野県は高齢者の就業率が全国で一番高く、生きがいを持って暮らしている、ということ。つまり働くことが健康の秘訣の一つになっているのです。シルバー会員にも何か希望が湧いてくるニューズですね。

広報委員一同



調理実習 - 「おいしいですよ」「味見はいかが?」

昭島市シルバー人材センター



上尾市のセンターから訪れた皆さん



格好いい植木班の作業風景



接遇研修 - 担当講師の説明に耳を傾ける



理事・地域班長全体会議であいさつをする黒岩会長(左) 会場に集った班長の皆さん

安全就業標語

今日も又 一声かけて 安全確認